

平成二十四年度の活動行事も、二月十七日(日)に行われた金閣寺垣製作を最後に無事終了することができました。これもPTA役員をはじめ会員の皆様の多大なご支援、ご協力の賜物と心から感謝申し上げます。

一年を振り返ってみますと、六月に北九州市で行われた九州地区高等学校PTA連合大会や八月に和歌山県で行われた全国高等学校PTA連合大会に参加したことなどのPTA活動を通じて、多くの人との出会いがあり、活動への取り組みや話し合いの場がありました。その気づきや学びは、私にとって大きな財産となりました。

また、親として、PTA会員の皆さんはもちろんです。先生方、そして地域の皆様方に真剣に誠実に子供達を見守っていただいていることを実感することができました。皆様方には本当に感謝しています。

さて、PTA活動の目的とは、教職員の方々と保護者が協力し合っ

て子供達の安全を守ること、そしてまた、よりよい学びの場を作り上げることを考えます。その目的の達成には、まずPTA活動への積極的な参加により、親と子、親と親、親と先生、そして、地域とのつながりが感じられるようになること、また、子供達に関心を持つこと、子供達の気持ちに気づいてあげることが大切だと感じます。

五月には新役員のもと、また新しい諫早東高等学校PTAが発足します。会員の皆様には何より子供達のために、PTA活動に対してご理解とご協力をいただくとともに、気楽にPTA行事に足を運んでいただけるような内容や雰囲気作りをしていきたいと思っております。是非、我が子のために積極的に参加をお願い申し上げます。



PTA会長 杉本幸一

活発なPTA活動を目指して

第18号

コスモス

発行者
諫早東高PTA
調査広報委員会



「挨拶」の「挨拶」には、心を開くという意味、「挨拶」には、その心に近づくという意味があります。即ち、挨拶をする行為は、自分の心を開くことで、相手の心を開かせ、相手の心に近づいていく積極的な行為といふことになり、そういう意味では、挨拶は「あなたの存在を見つけたこと」になります。よくよくお話しします」という人間関係をスタートさせるためのコミュニケーションの第一歩とも言えます。だから自分では挨拶をしたつもりでも、小さい声で「どうも」とか「おはようございます」というだけでは、相手にきちんと伝わる挨拶とはいえません。本校の生徒もはじめはそうでした。相手の目を見て、明るく、元氣よく、心を込めてするのが挨拶の基本です。実際に元氣なあいさつをすると、その違いに気がきます。言葉では言い表すことのできない爽快感が体を突き抜けます。生徒はそうした経験を通して一回り大きくなったように感じているのです。

新年のはじめに、「一年の計は元日にあり、今年はこの年にしよう」と考える時間を作ってください。「目標を大、中、小に分け、なるべく若い時期に将来のための時間をつくってほしい」という話をしました。働きながら勉強することは大変です。勉強するのなら今でしょう。今しかありません。

最後に保護者の方にお願いをひとつ。それは、毎朝、お子様を学校に送り出す際に身振りのチェックをして下さいということ。特に男子は、制服の第一ボタンがきちんとしまっていること、女子はスカート丈が膝下であることを確認してほしいと思っております。これだけのことで、これがきちんと守られている生徒は、非行に走ることはありません。よろしくお願ひいたします。



校長 泉助義

大きな声で挨拶
大きな声で返事



耐寒強歩大会を終えて

PTA副会長 植田 智子



2月8日(金)、毎年恒例の耐寒強歩大会が行われました。前日から気温がぐっと下がり、大会当日は雪がちらつく、まさに耐寒という名にふさわしい天候でした。「18.5kmを歩く」車に頼る現代の生活では、まずないでしょう。冷たい風、冷たい空気、冬の厳しい寒さを体いっぱいを感じることはできたのではないかと思います。

先生方、保護者、有志の3年生で、お米35kg分のおにぎりとお汁を作り、晴れやかな顔でゴールしてくる生徒の皆さんを迎えました。ゴールした後の冷えた体には、温かい豚汁は最高のごちそうだったのではないのでしょうか。

歩ききった生徒の皆さん、前日から準備をしたり、野菜やお米を提供して下さったりした先生方、保護者のみなさん、当日手伝ってくれた3年生、お疲れ様でした。



金閣寺垣製作

2月17日(日)、毎年恒例となっております、PTA活動の一環である「金閣寺垣」を製作しました。寒い中での作業となりましたが、親志の会や保護者の皆様の協力の下、本校職員、3年生の有志等総勢約40名で、3時間にわたる作業ののち無事に完成させることができました。今年度は、生徒玄関前の庭園をぐるりと囲む部分を新たにかけ替えました。全員で心を込めて竹を打ち込み、ひもをかけました。今はまだ、竹は青々としていますが、年月を経ますと独特の風合いが出てくるものと思います。学校にお寄りの際は、ぜひ御覧になってください。



PTA研修会に参加して

PTA学級評議員 斎藤 健一

平成24年10月14日(日)の午前中、本校文化祭のPTAバザー(餅つき)に参加した後、午後からは諫早農業高校で行われた三地区研修会に7名で参加して来ました。活水大学の久木野先生から、「家庭における食育」と題したご講演を頂きました。朝ご飯を食べないことが脳に悪影響を与えることなどのお話があり、「早寝早起き朝ご飯」の大切さと、「お母さんが食事を準備している香り」や「親子で囲む楽しい食卓の心地よい経験」の重要性を教えてくださいました。研究協議では、西陵高校の保護者から、部活動に入った我が子の体格づくりの体験談の発表がありました。他にも希望が丘高等特別支援学校からは、孤食では食事マナーは身につかないこと、大村城南高校からは子どもの体力養成のための献立づくりや食べさせ方の発表があり、活発に意見が交換されました。また、諫早農業高校からは、嫁と姑の力関係を暴露しながらの弁当づくりという、ユーモアたっぷりの発表もあり、それぞれ自分の家庭に置き換えて、くすりと笑ったり、なるほどと納得させられたりして有意義な時間を過ごすことができました。



文化祭バザーの餅つき(午前)



諫早農業高校にて三地区PTA研修会(午後)

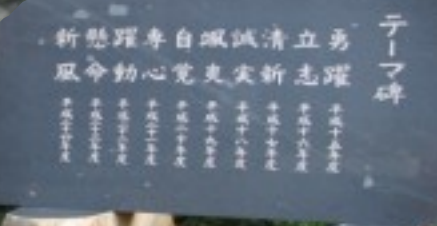
創立30周年記念 式典



式典オープニングを飾るパネル文字の作成練習

10月27日(土)
本校創立30周年記念
式典が挙行了されました。

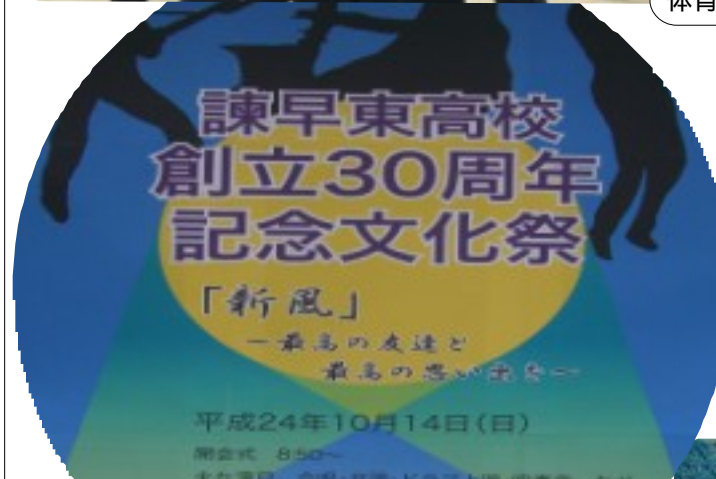
平成15年度～24年度テーマ碑



創立30周年記念 体育祭・文化祭・講演会



体育祭での応援合戦



文化祭PTAバザー



文化祭クラス展示(つまようじアート)



30周年記念講演
本校校歌作曲者、山口修 御夫妻



文化祭クラス発表のダンス